

第14回障害者施策推進課長会議におけるヒヤリング
資料

2008年7月30日

東京都知的障害者育成会本人部会ゆうあい会

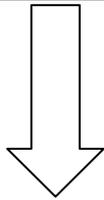
館森 久秋

なぜ 本人が参加するのか？その意味と仕組み

～当事者の思いが実現される4つのプロセス～

おも かん
思う・感じる

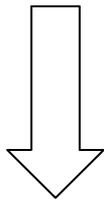
← これは、本人（当事者）でしかできないこと



『おかしいと思う』 『困ったと感じる』 『理不尽と感じる』

わ か る

← これは、本人活動や相談支援の場で行われやすい



『話し合う』 『相談する』 『課題を整理する』

【3つのわかる】

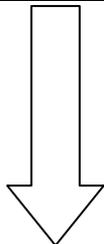
①何が問題かわかる

②解決へのヒントがわかる

③解決方法がわかる

つた
伝える

← これは、国や自治体の会議の場などで行われる



・必要な相手（国・都道府県や市町村・社会・地域）に伝える

・仲間に伝える

・支援者に伝える

かいぜん
改善される

よりよい社会へ

政策（会議）に参加するために

① 本人（知的障がいのある人）たちに関する会議には本人を委員として入れる。

② 資料をわかりやすいように工夫する。

- ・ 言葉づかいや表現をわかりやすくする。

- ・ 漢字にはルビをふる。

③ 会議の何日か前に本人と担当の人が会って直接説明をうける。

そのときにわからないことをきちんと確認しあう。

④ 会議の結果やできた計画、法律は本人にわかりやすい資料にして配る。

直接、本人たちに会って説明する場をつくる。

以上のことが、本人が参加する日本全国のすべての会議で実現する。

所得の保障

いま きそねんぎん た
今の基礎年金ではとても足りない

① にほん にんげん せいかつ きんがく さいていげん ほしょう
日本で人間らしく生活できる金額を、最低限、保障する。

しょう しゃ わりびき い つづ いや
「障がい者だから割引してください」と言い続けるのは嫌だ！！

② しょうとく ほしょう しょう しゃ わりびき じょせいせいど ふく ぜんてい かんが
所得の保障は、障がい者への割引や助成制度を含めて（前提に）考えず、

だれ ほんとう ひつよう きんがく ほしょう
誰もが本当に必要な金額を保障する。

はたら
働



しゅうろうしえん わ ひろ
～就労支援の輪を広げる～

しごと ちょうせい きのう やくわり たいせつ
仕事を調整する機能（役割）が大切

【3つの役割】

①仕事をみつけるとき。

しごと み じぶん あ いっしょ
仕事をみつけるときに、自分に合ったところと一緒にさがす。

②仕事をはじめるとき。

しごと はじ しょくば じぶん ちょうせい
仕事につくときに、職場と自分を調整する。

③仕事をつづけるとき。

はたら あいだ そうだん しょくば しごと ちょうせい
働いている間も、相談し職場や仕事を調整する

これらの機能が日常的に相談できる場で行われる
(就業・生活支援センターの充実)

ハローワークの職業紹介的機能（役割）では就労支援にはならない。

す じゅうたく 住む・住宅について

しせつ グループホームからでてちいきで暮らしたくても……

- ① やちん たか 家で、グループホームから出られない
 - ② ほしょうにん 保証人がいないと、アパートもかりられない
 - ③ しききん れいきん 敷金・礼金などの費用が用意できないのでアパートもかりられない
- ……などの課題があります。

こうえいじゅうたく ぼいりつ たか ちいき によってはじょうけんがきびしいのでにゅうまができないげんじつ
があります。

そこで、まずは……

- ① しょう しょうせんよう ふくしじゅうたく
障がい者専用の「福祉住宅」をつくる。
- ② ふくしじゅうたく
「福祉住宅」は、バリアフリーで、そうだんしえん
相談支援センターもついている

ほんとう こうえいじゅうたく
「本当は公営住宅でもいいのだけれど、そこを待つのはひげんじつてきなので、くに

せっきょくてき しょう しょうせんよう ふくしじゅうたく
積極的に障がい者専用の福祉住宅を建ててもらう。

そこにはくるまいすひとあんしんして暮らせるようバリアフリーにして、自分たち
も困ったときにすぐにそうだんしえん相談センターがあるようにする。」